



広報 なかわだ

第 374号

1月の予定

神の母聖マリア	1月	1日(日)
主の公現	1月	2日(水)
主の洗礼	1月	9日(金)
子どもと共に捧げるミサ	1月	23日(日)



Madonna dell'Granduca (Raphael)

2011年 1月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1

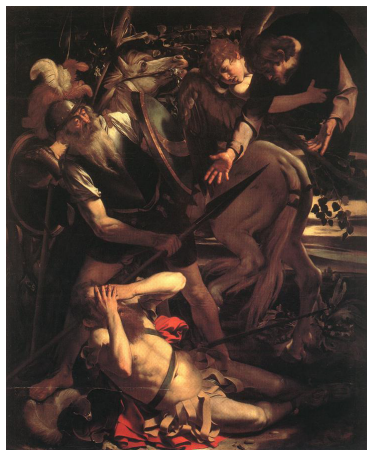
Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成 23 年 1 月 2 日

聖パウロの回心にあやかる

主任司祭 小林 陽一



新春のお喜びをつつしんで申し上げます。

仕事が忙しいとなかなか出来ないのですが、年の初めの幕のあく時にあたり、回心について考えたいと思います。

聖パウロは、回心のことなど忘れて、当時のキリスト者を捕らえようと一生懸命でした。キリスト者を見つけ次第エルサレムの都に連行しようとして、ダマスコ近くに来たとき、とつぜん地に倒れました。自分でも何が起きたのかわかりません。その時、「サウロ、サウロ、なぜ私を迫害するのか」という声が聞こえました。聖パウロの元の名前はサウロでした。「あなたはどなたですか」と尋ねると、「私はお前が迫害しているイエスだ」という声が聞こえました。

サウロは、起きあがって、人に手をひかれてダマスコに行き、キリストの弟子アナニアに会って、洗礼を授けられました。ユダヤ教だったサウロは、キリスト教徒となり、異邦人の使徒と呼ばれました。サウロが回心したのは、イエス様の声を聞いたときでした。

聖パウロのような回心にあやかりましょう。私たちが、今が絶頂と思い、充実した気分にいるとき、イエス様が声をかけて下さることがあります。それが回心の始まりです。時には、勉強に行き詰まったとき、生活がうまくいかなくなり、仕事も続かないというとき、イエス様の声を聞くことがあります。回心は、その時はきつく、余りに耐えられないと思いがちですが、それを受け入れ、乗り越えたとき、自分は新しい自分になっています。

年の初めに、回心の恵みを願いましょう。



日	曜		ミサ・勉強会	備考
1	土	神の母聖マリア	祭日ミサ(10時)	
2	日	主の公現	祭日ミサ(9時)	
7	金		初金ミサ(10時)	掃除
8	土		主日ミサ(18時)	
9	日	主の洗礼	祝日ミサ(9時)	教会委員会
15	土		主日ミサ(18時)	掃除
16	日	年間第2主日	主日ミサ(9時)	
22	土			掃除
23	日	年間第3主日	子どもと共に捧げるミサ(9時)	
29	土		主日ミサ(18時)	掃除
30	日	年間第4主日	主日ミサ(9時)	

コンプリ神父様の講演会が開催されました

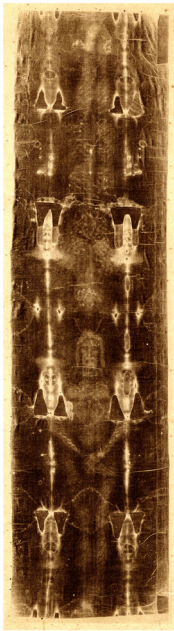
12月11日(土)にサレジオ会のガエタノ・コンプリ神父様をお招きして、『信仰と科学 ～聖骸布をめぐる～』と題する講演会を開催しました。中和田教会の信徒のみならず、多くの教会からもご参加を頂いて、50余名の方々が熱心に聴講されました。

コンプリ神父様は、「なぜ、私はここにいるのですか？」という根源的な問いかけを例にとりて話を始められ、

- ・「存在」することの意味から「科学では説明し得ない真理」までを、
- ・信仰と科学は決して対立しないこと、を伏線に置きながら、

聖骸布の視点から光を当ててわかりやすく、熱く、説明して下さいました。また、講演の終了後は懇話会も行なわれて、いろいろな質問に対して神父様が明快に説明して下さいました。

お忙しいなかお運び頂いたコンプリ神父様、どうもありがとうございました。また、ご参加頂いた皆様に感謝申し上げます。



「泉区民クリスマス 2010」に参加！



泉区内の10キリスト教団体が参加する泉区民クリスマスも今年で10周年を迎え、中和田教会からも大勢の方々が参加しました。可愛らしい幼稚園児の聖劇から、連合聖歌隊や各団体による合唱・合奏でおおいに盛り上がりました。また終了後に泉中央駅で行なったキャロリングにも大勢の通行人が足を止めていっしょに参加、こちらもおおいに盛り上がりました。

準備にご尽力された皆様、ご苦労さまでした。



ご降誕の聖劇・深夜ミサ

今日、あなたがたのために救い主がお生まれになった (福音主題句)

12月24日の夜、恒例の子どもたちによる聖劇とご降誕ミサが捧げられました。

今年は、ご降誕祭の為に、ベトナム信徒の方々が1ヶ月も前から聖堂の内外の飾りつけのご奉仕をして下さいました。

皆様と共に降誕祭を迎えることが出来た喜びを、分かちたいと思います。

病気など、いろいろな事情でご降誕ミサに与れない方々がの上に、豊かなお恵みが注がれますように



岩淵委員長の コラム



■ 新米委員長としてあっという間に一年が過ぎました。不慣れで色々ご迷惑をおかけしましたが、皆様の多大なる御支援と御協力を頂きまして有り難うございました。ヨゼフ会から信徒の会（仮称）への発展・拡大に向けた動き、3教会（戸塚、原宿、中和田）のおつき合い、第五地区の祈る、証しする、伝える活動への参加、バザーの復活や夏のバーベキューなどの諸行事、地区による行事への対応など、新しい動きもありました。

これからも皆様のご希望やご意見をお伺いしながら、より良い二年目にしていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

■ 12月19日に臨時信徒大会を開き、祭壇回りと信徒の椅子をリニューアルすることを御承認頂きました。御出席と前向きな御意見を頂きお礼申し上げます。皆様と相談させて頂きながら、祈りの場にふさわしい御聖堂にしていきたいと思っておりますので、引き続き御協力のほど宜しくお願い致します。

■ 新委員立候補のお願いが公示されました。委員の交代促進と、若返りは中和田教会の大きな課題の一つです。委員を一部の方々におまかせするのではなく、皆で交代していくことで、より広く意見が反映されていくように、そして何よりも自分たちの教会を良くしていくためにその運営に皆で参加していくという気持ちが大事だと思っています。その意味で、単なる立候補ではなく、奉仕だと考えて積極的にご対応頂きますようお願い致します。

委員会だより

△12月12日(土) 9名出席▽

報告事項

●共同回心式(12月5日 古川勉神父指導)

▽古川神父様に非常に良い講話を頂いた(典礼委員)

▽日曜日の回心式が続いたが、以前の土曜日とどちらがよいか、典礼グループを中心に検討して欲しい(小林神父)

▽講話を古川神父にお願ひするにあたり、中和田の意向を伝え切れなかったことを反省(小林神父)

●コンプリ神父講演会(12月11日開催)

▽聴講人数は50名程度であったが、コンプリ神父の迫力ある講演を熱心に聴いてくれた。内容的に充実した講演でよかった(委員長所感)

▽反省事項としては、事前に人数の掌握が出来なかったこと、指示系統の混乱で無駄作業が発生してしまったことなど。

▽今回は教会委員会とヨゼフ会の共催という形で開催したが、この『共催』というのが曲者で、「抜け」、または逆に無用な「重複」が発生する元凶となる。運営方法に関する教訓となった。

各グループからの報告、提案

●宣教&要理学校

▽第5地区の教会学校リーダー会で来年度の大雑把な行事の案をつくった。

・5月に第5地区の運動会を栄光学園のグラウンドを借りて行なう

・8月19〜21日にキャンプを、栄光学園の臨海教室施設を借りて行なう

▽湘南キリスト教セミナー

・既に報告の通り、6月11日でシスター小野を招いて鍛冶ヶ谷教会で開催することが決定している。

・鍛冶ヶ谷教会の地域的な特性を踏まえて、育児や不登校関係の話題が中心となる予定。

▽要理学校

・子どもたちによる降誕祭聖劇は12月24日の午後6時30分から行なう(7時から深夜ミサ)

・12月26日(日)は「子どもミサ」の予定となっているが、降誕祭の直後でもあり、通常ミサとする

●営繕

▽本格的な屋根修理は5〜6年後に行なうが、費用は概算で三百四十万円にのぼる。毎年積立を行なう

▽その他種々の修理の実績ならびに予定内容の詳細説明(別資料)

●典礼

▽元旦ミサは午前10時開始

(神の母聖マリアの祭日ミサ)

▽6月19日に梅村司教に来訪頂き、堅信式を行なうことに決定

●行事

▽降誕祭深夜ミサ後に新集会室で「クリスマス・サロン」を開催する

・CD地区担当で行い、既に打合せ済み

・司会は岩淵委員長をお願いして、概ね20時から1時間程度を目処とする

●証し(福祉)

▽来年度の「愛の献金」の内容について検討中

▽愛の献金の取り扱いに関する議論

《Q》泉区社会福祉協議会にも義援金を出している経緯は?

《A》以前より、「中和田教会の意思」として継続的に出している

《Q》(バザー収益分配含めて)証しグループとしての動き方は?

《A》「はじめに金額ありき」ではなく、証しグループとしての考え方と計画を委員会に提案して頂きたい

●広報

▽広報に記載したとおり、信徒のご意見の吸い上げの試みとして、広報に『なかわだの声』欄を常設し、投函箱

を近日中に設置する

●総務

12月19日にリコー担当者が来訪して、使い方指導ならびにLAN接続を行なう(総務が対応)

●財務(委員欠席のため委員長が説明)

11月度の実績を見る限り、建設会計の年度予算達成が厳しいが、別途財務委員に確認

●討議事項

●1月度教会行事日程の確認

▽元旦ミサの開始は午前10時

▽1月5日の聖書研究会はなし

●祭壇関係検討結果報告(別資料に基く)

▽12月19日に臨時信徒大会を召集して、信徒に説明、了承を得る場をつくる

▽12月19日には少なくとも「祭壇周り」については確定し、「会衆席」については遅くとも、来年1月30日の定期信徒大会にて結論を出す

▽改装費用の概算額としては、祭壇周りが百七十万円、会衆席二百六十万円

●年度内の行事

▽臨時信徒大会のため、大掃除は12月18日(土)9時30分から行なう

▽12月24日降誕祭深夜ミサの対応
・案内係は小野、駐車場係は高田

●来年度委員改選

▽委員長より該当委員に対して後任委員の推薦を要請

《いろいろな意見》

・若手にどんどん入って頂くことで新陳代謝を加速することが、教会運営活性化にとって必須

・いつまで経っても、似たような顔ぶれで委員会を運営していることが活性化の阻害要因

・現在の「副委員長」の職責は形骸化しており、次期教会委員長を担う人物が任せられるべし

●ヨゼフ会の改組について

▽男女を問わず、年齢も問わず、自由にお話合いの出来る場に改め、名称もヨゼフ会をやめて「信徒の会」(仮称)とする

▽教会委員会から独立した組織とする

▽運営方法は、これから詰める

《Q》組織化する目的は?

《A》教会委員会のような機能別の組織ではなく、横串を通す形で、信仰マター等の教会本来の本質的課題を語り合って、分ち合う場を作る。「教会委員会」と「信徒の会」が両輪となって初めて円滑な教会運営が出来るかと考える(委員長)

●ごみ処理について

▽中和田教会も、広町町会のゴミ掃除の仕組みに入った

▽(従来通り)会合やイベントの際に発生したゴミはその都度「持帰る」ことを徹底する

●自転車置き場の屋根の件

▽(門柱周りの工事を行なう前はあったが)屋根は設けない

▽小林神父のクルマの駐車場所を変えれば、2台分駐車スペースが増えるので検討する

●小林神父の話

前述の項目で議論済み。省略

(今回は1月9日)

以上

